

# FOODTECH OPEN INNOVATION SEMINAR

## TOPPAN オープンイノベーションの取組み

---

TOPPAN株式会社 九州事業部  
ビジネスイノベーション営業本部 DX推進部



**TOPPAN株式会社**  
**九州事業部 ビジネスイノベーション本部 DX推進部**

**薄 俊介（すすき しゅんすけ）**

2021年よりTOPPAN株式会社にジョイン。

福岡を中心に、九州全域における新規事業の開発に従事。  
オープンイノベーションプログラムの運営、スタートアップとの連携、パートナー企業との共創を推進。

新規事業の推進テーマは、サステナビリティ領域

グリーン・トランスフォーメーション（GX）、フードテック、SDGs等のテーマを中心に、新たな事業領域の開拓や新サービス開発に取り組む。



## TOPPAN

創業 1900年

本社所在地 東京都千代田区神田和泉町1番地

代表者 代表取締役社長 磨秀晴

事業内容  
情報コミュニケーション事業  
生活・産業事業  
エレクトロニクス事業

グループ企業  
連結子会社194社  
持分法適用会社32社

従業員数 52,401名（連結）

売上高 1兆5,475億円（連結）

営業利益 735億円（連結）



## 120年を超えて培われた「技術・ノウハウ」で 新たな価値創造に挑戦し続けます。

1900年、当時の最先端印刷技術「エルヘート凸版法」をもってトッパンは創業しました。その後幅広い分野に印刷の領域を拡大し、技術・ノウハウを培ってきました。そして、その印刷技術を進化・発展させ、1959年にエレクトロニクス事業へ進出、1961年には企画制作・マーケティング部門を設立するなど、さまざまな変革を遂げてきました。そうして培われた印刷テクノロジーをベースに、トッパンは2025年を目標に社会的価値創造企業という新たな企業像に向けて、挑戦を続けていきます。



1900  
煙草包紙



1901  
商業印刷



エルヘート凸版法



創業

1900

(1904 大阪商船株券)



1902  
証券印刷



1907  
出版印刷



1938  
軟包材



1961  
サービスセンター開設  
(現トッパンアイデアセンター)



1963  
香港工場操業開始



1964  
海外駐在員事務所開設 (N.Y.)



1959  
メサ型トランジスタ  
製造用マスク



1956  
建築材



1986  
総合研究所竣工



1986  
GL FILM



1997  
VR作品『唐招提寺～金堂の枝と鑑真和上に捧ぐ御影堂の美～』  
■製作・著作：凸版印刷株式会社/TBS  
■監修：鈴木嘉吉・大山明彦  
■協力：唐招提寺  
※データ提供：独立行政法人 情報処理推進機構  
先導的アーカイブ映像製作支援整備事業より



2011  
総合電子書籍ストア「BookLive」オープン



2001  
電子チラシ  
ポータルサイト「Shufoo! (シュフー)」

2000

創業100周年  
TOPPAN VISION 21制定



2000  
トッパン小石川ビル竣工



トッパンホール



印刷博物館



2003 ICビジネス



2008  
シンガポール  
大手印刷会社SNP社を買収  
(2009年「トッパンリーフオン」に  
社名変更)



2014  
群馬センター工場竣工



2016  
TOPPAN USA ジョージア工場竣工



2019 ドイツINTERPRINTを買収



2017 台湾Giantplusを買収



2017 スペインDECOTEC PRINTINGを買収

2025



120th Anniversary  
2020 創立120周年



2020 創立120周年



2017 台湾Giantplusを買収



2017 スペインDECOTEC PRINTINGを買収



2016  
TOPPAN USA ジョージア工場竣工



2014  
群馬センター工場竣工



2008  
シンガポール  
大手印刷会社SNP社を買収  
(2009年「トッパンリーフオン」に  
社名変更)

## なぜ印刷会社がフードテックなのか？

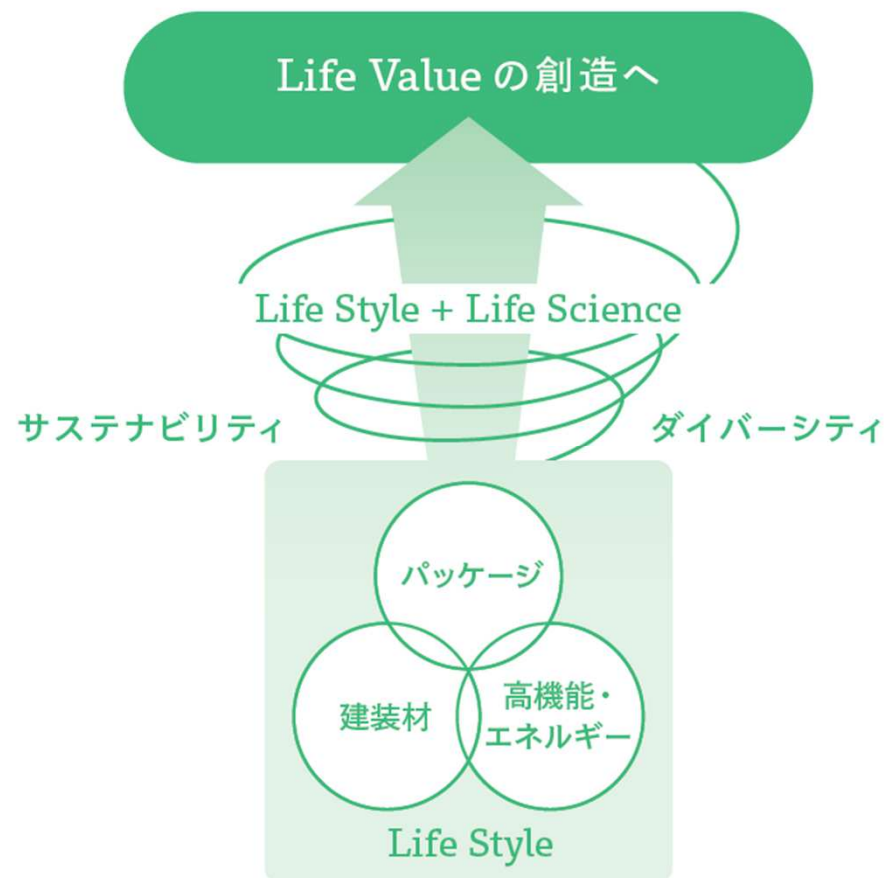
---

未来の“豊かなくらし”の実現に向けて「ライフバリュー」を創造する



「パッケージ」「建装材」「高機能・エネルギー」。3つの分野において長年培ってきたテクノロジーは、サステナビリティ（持続可能性）・ダイバーシティ（多様性）のコンセプトのもと、ライフスタイルのご提案からライフサイエンス分野にまで領域を広げています。これらのテクノロジーを進化・融合させ、総合力を発揮することにより、私たちはお客さまとともに、「ライフバリュー」の創造、すなわち、ひとびとが生き生きとくらす“まちづくり”を見据えたソリューションを展開します。

## Life Value Company



## TOPPAN Business Action for SDGs









# なぜ印刷会社がフードテックなのか？

case study

## ネスレ 「キットカット紙化パッケージ」

紙化による「脱プラ」をブランド  
価値に転換した紙製パッケージ

2次包装



case study

## 加賀味噌 「加賀みそチューブなパウチ」

胴体フィルムの厚みを薄くしたことで、ラミネートチューブと  
比較して、プラスチック樹脂の使用量を30%以上削減  
省資源化による環境適性に配慮した容器



case study

## セブン&アイ 「PETボトルリサイクル」

店頭で回収したペットボトルをリサイクルし  
PB商品に活用



【出典】 <https://www.7andi.com/company/challenge/11828/1.html>

case study

## 明治 「再生プラスチックを使用した包装を初採用」


明治として初めてペットボトルをリサイクルした  
再生プラスチックを使用した包装を期間限定フレーバーで採用



明治のプラスチック資源循環の取り組み  
(抜粋)

当社は、プラスチックごみが生態系や環境に  
大きな影響を及ぼす重要な課題と認識し、  
2020年6月に「明治グループプラスチック資源循環ポリ  
シー」を制定し、  
2030年度までに容器包装の  
プラスチック使用量を25%以上削減  
(2017年度比) する目標を定めました。

【出典】 [https://www.meiji.co.jp/corporate/pressrelease/2021/0824\\_02/](https://www.meiji.co.jp/corporate/pressrelease/2021/0824_02/)

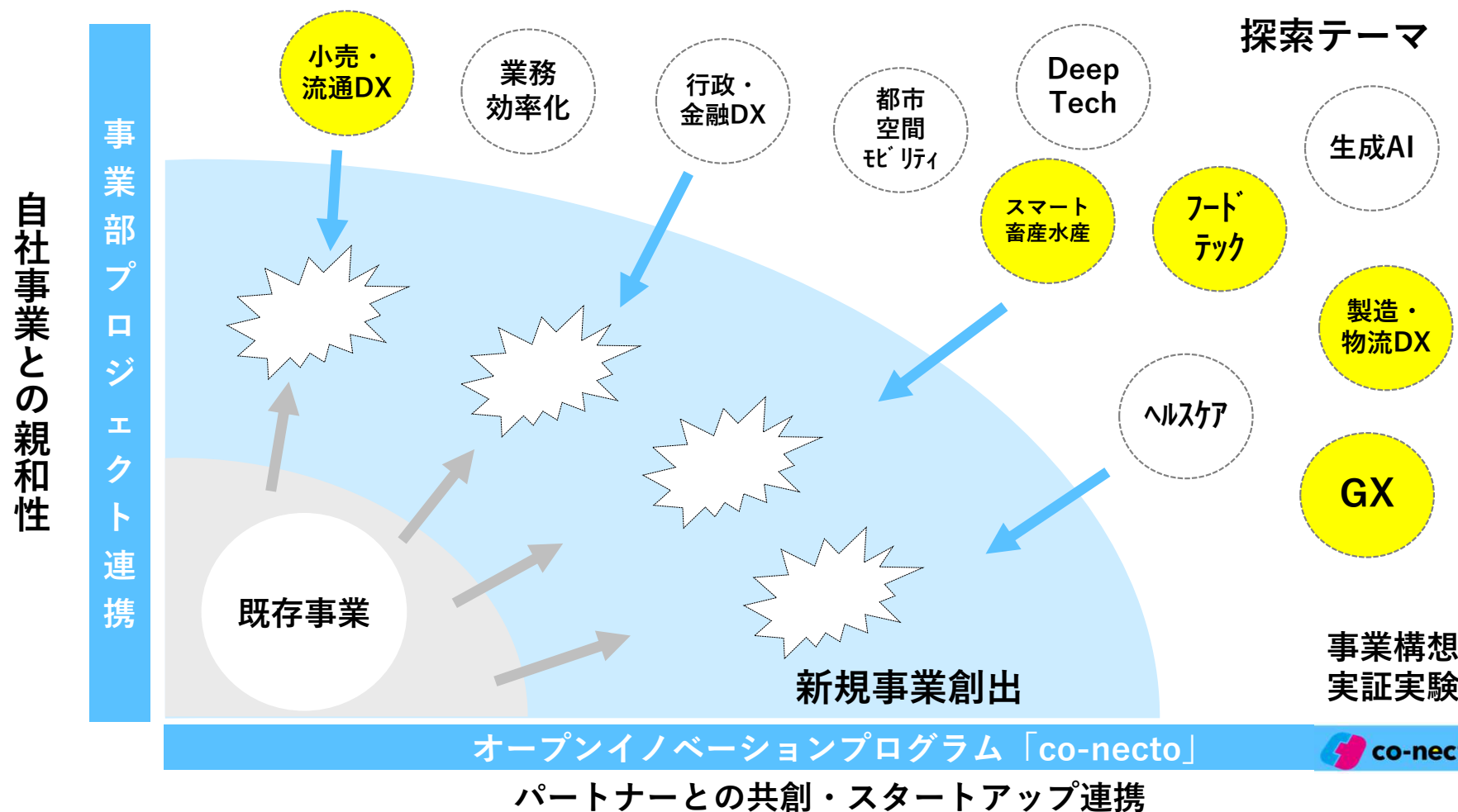
むすんで、拓いて、共に創る  co-necto

## オープンイノベーションプログラム co-nectoの取組み

---

## ミッション：ビジネス領域の新規開拓を目指し、事業創出に取り組む

- (1) スタートアップやパートナー企業との事業共創
- (2) 社内プロジェクト連携からの新領域探索
- (3) オープンイノベーションによる新規事業の創出



## 最大の課題は既存事業である印刷の減少

- ① デジタル化への移行により市場全体が縮小傾向
- ② 折込チラシ・カタログの縮小や廃止
- ③ ペーパーレス化の推進



10年先の会社の成長のためには新たな事業を作っていくことが必要不可欠な状況

2016年にわずか3名で新規事業の部署を立ち上げ、  
“福岡”を拠点に事業開発をスタート



凸版印刷・パートナー企業・スタートアップ企業で行う  
新事業創出のための“**事業実証**”を目的としたプログラム



パートナー企業・スタートアップ企業・凸版印刷の3社で実証実験を行う場をOpen Innovation PoC Lab.として、よりスピーディかつより幅広く、新たなサービスやプロダクトの創出を目指す。

## 実施概要

- テーマ毎にスタートアップ企業を募集し、二次選考を通過したスタートアップ企業とパートナー企業、および凸版印刷の3社でのPoCを行う。
- パートナー企業および凸版印刷は、実証フィールドやPoC費用一部負担といったインセンティブを提供する。

※PoCとは…Proof of Concept 概念実証の略

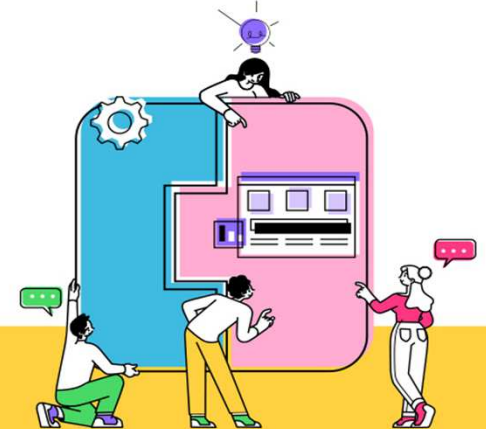
本プログラムではPMF（Product Market Fit）のテストマーケティングも含むものと解釈

凸版印刷を介して、事業会社との実証フィールドを提供

Open Innovation PoC Lab.



TOPPAN  
OPEN INNOVATION  
**co-necto**  
- 新たな価値をともに創る -



① PoC実証費用の一部支援

1社平均**200万円**を支援

※2/3を上限、1/3は応募企業の自己負担

② PoC実施フィールドとアセットの提供

計画策定支援、**実証の場・  
リソースの提供**

③ PoCに関する記事配信

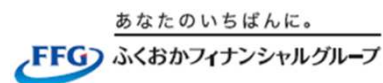
PoC実施前後に**パートナー企業と  
TOPPAN連名でのプレスリリース**  
を実施

④ 実証後の検証、共同事業化検討

プロダクトマーケットフィットの検証  
や、事業化に向けた協業を検討

No	テーマ	テーマ詳細
1	カーボンニュートラル	# 脱炭素・脱プラ # 食品ロス # 資源循環
2	行政DX	# 書かない、待たない、回らない、ワンストップ窓口 # 自治体職員業務の効率化 # 住民の利便性向上
3	小売り・流通DX	# 販売促進・売上アップ # 業務支援・省人化 # 需要予測
4	ジェネレーティブAI	# ChatGPT # 自動生成
5	金融DX	# フィンテック # RPA # 審査・窓口業務効率化
6	次世代ヘルスケア	# 心身健康の可視化・ケア # PHR・予防未病対策 # 健康寿命伸長 # ペットテック
7	製造・物流DX	# IOTデバイス # 製造業務効率化 # 物流業務効率化
8	次世代ソリューション	# メタバース # AR・VR # NFT # デジタルコンテンツ
9	都市空間	# まちづくり # スマートシティ # 防災
10	ディープテック	# 基礎研究 # 大学ベンチャー
11	パートナー共創	# 凸版印刷及びパートナー企業の求める技術・ビジネス領域、提供可能なアセットに対して、事業共創に繋がる事業領域であればテーマ不問





22社のパートナー企業



## 総エントリー数

過去最多

135件

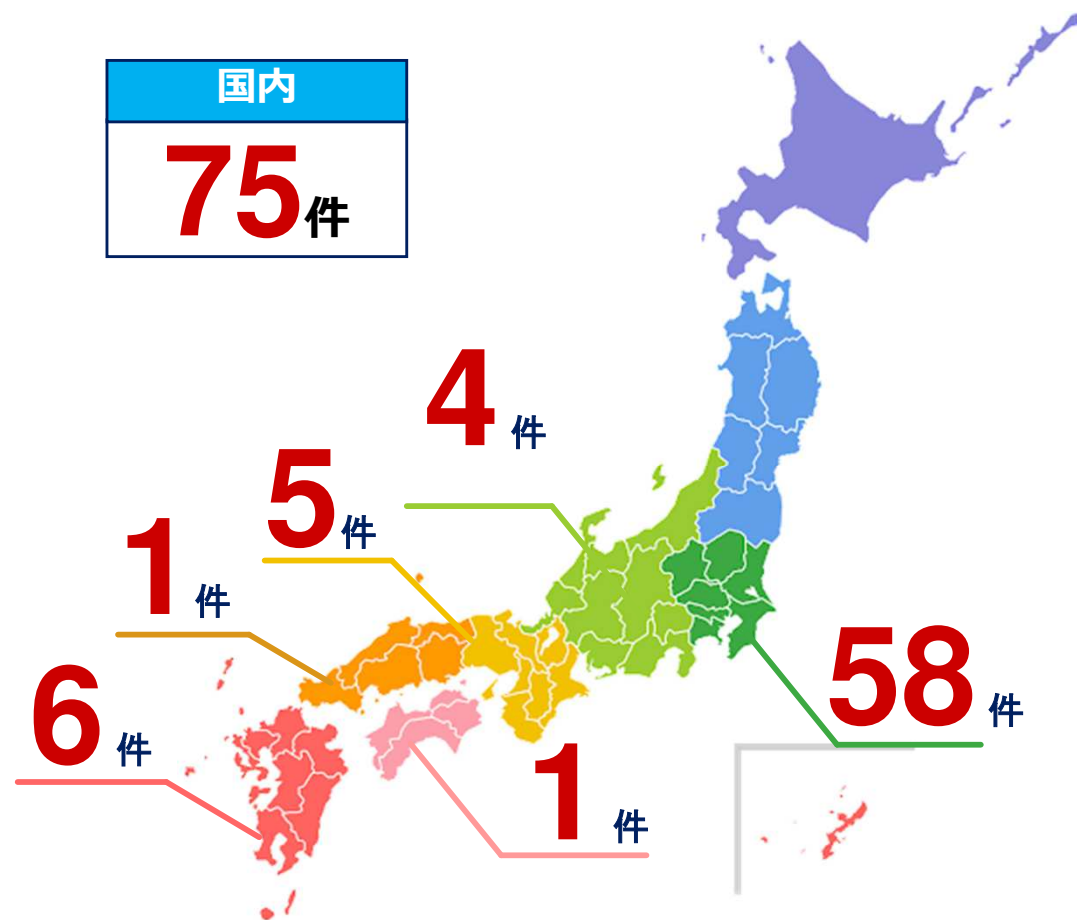
## 海外

60件

韓国	17件	タイ	11件	インド	7件
カナダ	2件	イギリス	7件	台湾	2件
スペイン	1件	イスラエル	4件	ドイツ	2件
アメリカ	4件	フランス	3件		

## 国内

75件



# TOPPANだけではできないことが実現可能な パートナー共創型のオープンイノベーション

## 様々な実証フィールドの提供

異なる業種業態のパートナー企業がいることで、スピーディーな実証の実施が可能

## スタートアップの幅広い技術への対応

パートナー企業の新規事業テーマは多岐に渡るため、連携可能なスタートアップ企業の幅が広がり、新事業の可能性が広がる

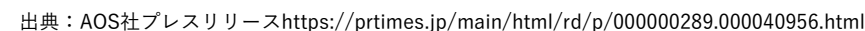
## 共創パートナー同士のネットワークの構築

新規事業に取り組む企業同士の連携、新規事業に関する相談など、co-nectoを通じた新規事業ネットワークによる相乗効果

# フードテックの注目領域

---





## 生産技術

バーチャルファーム、  
水耕栽培・魚菜共生、農業ロ  
ボット、ドローン技術、スマー  
トファクトリー

## フードデリバリー

配膳ロボット、クラウドキッチ  
ン、マッチングプラットフォーム、スマートパッケージング、  
需要予測

## 食材トレーサビリティ

デジタルラベル、IoTセンサー、  
ブロックチェーン技術、QR  
コード追跡

## 代替タンパク質

代替肉、植物ベースのタンパク  
質、代替魚、昆虫食品

## 食品加工・保存技術

3Dフードプリンター、冷凍・  
乾燥技術、ハイドロコロイド食  
感変更、低温調理、食品残渣

## 健康・ウェルネス

発酵食品、ダイエットアプリ、  
栄養指導、健康診断キット

## 食品安全・衛生

検査ロボット・装置、食品用紫  
外線消毒センサー搭載、包装

## 消費者エンゲージメント

AR/VRメニュー体験、レシピ共  
有・クッキングプラットフォーム、サステナビリティ

すべてを突破する。  
**TOPPA!!!**  
**TOPPAN**